

咽頭結膜熱(プール熱)

アデノウイルスによる感染で、発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とする急性のウイルス感染症です。



<病気の特徴>

感染した子どもの目やにやのどの分泌物、便などが感染源となり、潜伏期は5～7日、症状は発熱、咽頭炎(のどの赤み、痛み)、結膜炎(目の炎症)が主症状です。下痢や嘔吐などの症状が目立ち、結膜炎は出ないこともあります。

発生は年間を通じてみられますが、特に夏季に流行をみることがあります。プールの水が汚染されて集団発生することがあるため、プール熱とも呼ばれます。



<注意すること>

感染力が強いので、家族の中でひとりが感染すると、家族内にうつることもあります。家族に移さないよう、タオルや洗面器、洗濯も別にします。症状が消えた後も、2週間程度は便や唾液にウイルスがいるので、おむつ替えの後は石けんでよく手を洗いましょう。

のどの痛みが強いため、水分補給を十分にしておき、脱水症状に気を付けましょう。



詳しくはこちら(国立感染症研究所感染症情報センター)

http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k03/k03_14.html